

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 49 回 基盤応用・廃炉技術専門部会 議事録

1. 日 時：2021年2月5日（金）9:30～10:50

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）萩原部会長，石川副部会長，湊幹事，石川，北島，坂本，佐田，田中（正），張，野依，日比，藤井，増田，松本，山路，山本，吉田（審議案件途中出席）
（17名）

（欠席委員）田中（健）（1名）

（説明者） 【基盤応用・廃炉技術専門部会】湊幹事（1名）

（事務局） 田老，牧野（2名）

4. 配付資料

- ATC49-0 第 49 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第（案）
- ATC49-1 第 48 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）
- ATC49-2 人事について
- ATC49-3 欠番
- ATC49-4-1 標準策定 5 ヶ年計画（基盤応用・廃炉技術専門部会 2021 年度版案）
- ATC49-4-2 新知見情報の確認
- ATC49-5 2020 年度「倫理教育の周知徹底」に関する活動状況について
- ATC49-6-1 標準委員会規程
- ATC49-6-2 標準委員会運営規約
- ATC49-6-3 標準委員会審議細則
- ATC49-6-4 標準委員会専門部会運営細則
- ATC49-6-5 標準作成ガイドライン
- ATC49-6-6 標準策定 5 年計画の更新ガイドライン
- ATC49-7 分科会活動状況

参考資料

- ATC49-参考 1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿
- ATC48-参考 2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

(0) 出席者確認

事務局から開始時，委員 18 名中，17 名が出席しており，成立に必要な定足数（12 名以上）を満足している旨が報告された。審議案件中に 1 名が参加し 18 名全員の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC49-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事（ATC49-2）

事務局から ATC49-2 に基づいて，専門部会の人事について以下の提案があり，審議の結果，専門部会委員再任が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

委員再任

湊 博一

日立 GE ニュークリア・エナジー

2021. 05～2023. 04

(3) 【報告・審議】 (ATC49-4-1, ATC49-4-2)

標準策定5か年計画の更新について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事から ATC49-4-1, ATC49-4-2 に基づき、題記標準策定 5 か年計画の更新についての説明があり、審議の結果、見直し案を次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: 標準委員会に上奏する 5 か年計画は、タスク会合等で指摘された変更点を修正し、改訂すること。

(4) 【報告】 (ATC49-5)

倫理教育の受講実績について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事から ATC49-5 に基づき、題記受講実績についての報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: 各分科会で議論された内容について集約して記載する。自習等で行われた倫理教育については、一度会合時に議論をしておくことが望ましい。

(5) 【報告】 (ATC49-6-1～ATC49-6-6)

規程類の改正について

- (1) 標準委員会規程
 - (2) 標準委員会運営規約
 - (3) 標準委員会審議細則
 - (4) 標準委員会専門部会運営細則
 - (5) 標準作成ガイドライン
 - (6) 標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン
- (担当 事務局)

事務局から ATC49-6-1～ATC49-6-6 に基づき、題記規程、規約、細則の改定について、理事会で承認、報告され、1月26日に施行となったこと、及びガイドラインについては12月2日の標準委員会で承認されたこと、また全ての規程類を学会 HP にアップした旨の報告があった。

(6) 【報告】 (ATC49-7)

基盤応用・廃炉技術専門部会 分科会活動状況について

(担当：放射線遮蔽分科会：坂本主査，シミュレーションの信頼性分科会：田中(正)幹事，
放射線の有効高さ評価分科会：藤井幹事)

“放射線遮蔽分科会”

・遮蔽計算に用いる遮蔽コンクリート標準組成策定の作業会の開催実績，放射線工学部会主催，廃止措置・放射線遮蔽分科会共催の「放射線遮蔽設計法に係るワークショップ第5回」の開催予定等が報告された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: 萩原部会長から、 γ 線ビルドアップ係数標準に関して米国原子力学会から無償提供の依頼が来ていることが紹介された。当方は米国原子力学会の標準を購入しており、両学会の間に無償提供の取り決めがないことから、本来購入していただくことが適当である。この件は標準委員会で審議してもらおう。英語版の本標準の制定を急ぐよ

うにとの指示があった。

“シミュレーションの信頼性分科会”

- ・資料に基づき、前回からの進捗として、2020年度倫理教育（メール配信による自学習）の実施報告とその意見集約結果について概要を紹介した。

“放出源の有効高さ評価分科会”

- ・本年1月19日に第4回分科会を開催し、「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準」の改定について、継続して議論を実施していることを報告。

6 その他

次回は、2021年5月7日（金）9:30から予定。

以上